

# カキ生育情報

千葉県  
平成20年10月号

## 【9月の気象】

平均気温は、平年に比べ第1、第5半旬が高く、第2～4半旬及び第6半旬で低く推移した。月平均気温は22.7℃で平年よりやや低かった。

降水量は、平年に比べ第4半旬147mmで平年より109mm多かった。また第3半旬が0mmで、第1、2、5、6半旬で平年よりも少なかった。月合計降水量は190mmで平年よりも60mm少なかった。

日照時間は、第4、第6半旬が平年より少なかった。残りの半旬は平年並以上で推移したが、月合計日照時間は平年より13時間少なかった。

表1 平成20年9月の気象（暖地園芸研究所）

月	半旬	平均気温(℃)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月	1	26.0	25.0	3	27	38	31
	2	23.6	24.5	4	46	33	28
	3	23.5	23.8	0	29	25	25
	4	22.0	22.7	147	38	12	22
	5	23.5	21.6	3	47	20	20
	6	19.0	20.5	34	64	4	20
合計/平均		22.7	23.0	190	250	133	146

## 【樹及び果実の生育】

暖地園芸研究所では、西村早生の収穫は9月17日に始まった。昨年より3日遅かった。収穫盛期、終期とも平年並になりそうである。果実の縦・横径は昨年よりも小さく、平年並であった。収穫した果実はカキノヘタムシガの幼虫による被害が目立ち、へたすき果が多く見られた。松本早生富有は9月下旬に着色が始まった。果実の縦径・横径は平年並よりやや小さかった。収穫時期も平年並になると予想される。富有は9月下旬のから着色がはじまった。果実の縦・横径は平年よりもやや小さかった。着色が昨年よりも早く始まったので、収穫果は昨年よりやや早くなると予想される。

いすみ市の西村早生の果実横径は昨年に比べてやや小さかった。被害は少なかったが、カメムシが確認された。その他で目立った病害虫はなかった。市原市の松本早生富有の果実肥大は平年並であった。また落葉病、カキノヘタムシガが散見された。また台風などの強風は少なく、落葉及び落果は見られなかった。

表2 果実の発育（平成20年9月30日）

品種	調査地	横径 (cm)			縦径 (cm)			果径指数		
		本年	昨年	平年 <sup>1)</sup>	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
西村早生 <sup>2)</sup>	いすみ市	7.3	7.4	-	5.3	5.5	-	1.38	1.35	-
	暖地園研	7.6	8.2	7.7	5.5	5.7	5.5	1.38	1.45	1.40
松本早生富有	市原市	6.6	6.5	-	4.6	4.5	-	1.43	1.44	-
	暖地園研	7.1	6.7	7.4	5.2	5.4	5.3	1.36	1.30	1.39
富有	暖地園研	6.8	6.8	7.2	5.1	5.4	5.4	1.33	1.27	1.32

注1) 暖地園芸研究所における平成2年から17年間の平均値

2) いすみ市及び暖地園芸研究所における西村早生のデータは9月に収穫した果実データを含む

## 【10～11月の作業の要点】

### 収 穫

中生、晩生種の収穫時期を迎え、収穫が本格化する。カキ本来の味を消費者に提供するためには、早採りを避け、適期収穫を心がける。収穫前にはカラーチャートを用い、適熟の色を必ず確認しておく。収穫はなるべく果実が乾いた状態で行い、収穫した果実が濡れている場合は必ず風乾する。収穫、選果、調整作業の際には、果実をていねいに扱うことが大切である。選果は厳格に行い、へたすきの程度が大きい果実や傷のある果実は、軟化しやすいので出荷しない。

### 追 肥

貯蔵養分の多少は、翌年の樹の生育を左右する。貯蔵養分を蓄積させるため、礼肥を施す。松本早生富有、次郎、富有などの中晩生品種では、10月中下旬までに速効性肥料で施用する。窒素の成分で、2～3 kg/10a が適当である。

### 病虫害防除

カキノヘタムシガや枝幹害虫類の発生が多い園では、落葉直後に粗皮削りを行い、中に潜んでいる幼虫を殺す。粗皮削り後は枝幹保護剤を塗布するとよい。害虫の発生が少ない園では、12月以降（休眠期）でよい。

《生育情報の問い合わせ先》

※ 千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所果樹研究室

TEL 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>